



4月11日(水)

正しい着用で

万が一に備えましょう

～チャイルドシート着用啓発活動～

春

の交通安全運動期間中の4月11日(水)、ホック伯耆店前で伯耆町交通安全指導員ら関係機関が参加して、啓発活動が行われました。

啓発活動を行ったのは、伯耆町交通安全指導員、交通安全保護者の会、日野川地区交通安全協会、黒坂警察署の署員です。参加者はチラシや反射材のキーホルダーを買い物客に手渡ししながら、チャイルドシートの正しい着用を呼びかけていました。

平成29年度、黒坂警察署管内で発生した人身事故25件のうち、伯耆町内で発生した事故は16件でした。交通ルールやマナーを守り、万が一のときに同乗者を守るチャイルドシート、シートベルトを正しく着用して、安全運転を心掛けましょう。



▲啓発グッズ



▲正しい着用を呼びかける参加者

4月15日(日)

美しい大山を守ろう

～大山春の一斉清掃～

毎

年多くの観光客が訪れるゴールデンウィークを前に、4月15日(日)大山周辺の市町村で一斉清掃が行われました。

伯耆町では、地元自治会や企業ボランティアなど約180人が参加し、樹木高原や樹木周辺の道路などを清掃しました。当日は風雨の強いあいにくの天気となりましたが、参加者は道路や山中に捨てられた菓子袋やカンなどを熱心に拾い集め、樹木周辺の環境美化に取り組んでいました。

また、この日は大山開山1300年祭の機運を盛り上げるため、県内の市町村をリレーしている山鐘やまかねの引き渡し式が清掃作業の前に行われ、森安町長から琴浦町の小松弘明町長へ山鐘がリレーされました。

大山周辺は、地元住民やボランティアの努力により、年々ごみが減ってきています。美しい大山を守るため、自分で出したごみは必ず持ち帰りましょう。



▲山鐘を琴浦町長にリレー



▲参加した地元・ボランティアの人たち

